



# 性の健康教育は人権教育

学校長 村越 新

1月17日（土）の土曜参観日では多く方にご来校いただき感謝しています。この日、1, 2時間目に埼玉医科大学の高橋幸子先生に授業と講演を行っていただきました。とっても大事なお話をいただいたので、一部を紹介します。



【4, 5年生に向けて】

○性には4種類ある

からだの性 こころの性 好きになる性 表現する性  
人の数だけ性別がある

○お腹の中の赤ちゃんの脈拍は、1分間に160回

生きることだけのためにがんばっている

○プライベートゾーンについて

合言葉は「ノー」「ゴー」「テル」

○信頼できる大人を3人つくっておくこと → 相談できるように

【保護者に向けて】

○性に関する質問には「どうして知りたいと思ったか」と質問することが大事

その子の質問に答えてくれる大人\*にたどり着いたことは、良いこと

\*信頼できる大人

信頼できる大人がいないとネットで正しくない情報を得てしまう

子供が知りたいと思った時に正しく教えてあげることが大事

○性に関する良い本を渡してあげたい

「この本に書いてあることなら、何を質問してもいいよ」と言ってあげる

○性を学ぶことは、人権を学ぶこと

## ○国際セクシュアリティ教育ガイドラインより

- ・8つのカテゴリー
  - 「関係性」「価値観、権利、文化、セクシュアリティ」「ジェンダー理解」
  - 「暴力と安全確保」「健康と幸福のためのスキル」「人間のからだと発達」
  - 「セクシュアリティと性的行動」「性と生殖に関する健康」
- ・4つのレベル
  - レベル1 5～8歳：自分を大切にすることを知る時期
  - レベル2 9～12歳：変化とちがいを知る時期
  - レベル3 13～15歳：人との関係を深める時期
  - レベル4 16～18歳：社会とつながる時期

### ・レベル1 「(5～8歳) 自分を大切にすることを知る時期」

「自分のからだや気持ちは大切なものだ」という感覚を育てる  
気持ちを表現することや、助けを求める学んでいく  
(信頼できる大人との関係の中で)

#### \*大事な考え方

「からだは自分だけの大切なもの」  
「気持ちは言葉で伝えていい」  
「家族や友だちにはいろいろな形がある」  
「困ったときは大人に話していい」  
「思いやりはやさしい行動から生まれる」

### ・レベル2 (9～12歳) 変化とちがいを知る時期

正しい知識を得て、不安を減らし、自他を尊重する気持ちを育てる

#### \*大事な考え方

「からだと心は少しずつ変わっていく」  
「感じ方や考え方には個人差がある」  
「うわさより正しい情報を大切にする」  
「相手の気持ちと境界線を尊重する」  
「ひとりで悩まなくていい」

## ○日本の性教育

小学2年生 へそ

小学4年生 月経・射精

小学5年生 ヒトの誕生

小学6年生 二�性徴

受精に至る過程  
は取り扱わない